



耳よりな話

平成20年1月15日 発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士・FP)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax

042-722-1526

E-mail : jun2abe@ybb.ne.jp

All rights reserved

在職老齢年金・・・働きながら受取る年金

前回につづき 65 歳以上の在職老齢年金につき説明します。

65 歳以上の在職老齢年金

65 歳以上の在職老齢年金は、平成 14 年 4 月 1 日以降に 65 歳になった人に適用されます。このため、平成 14 年 4 月 1 日にすでに 65 歳に到達していた人（昭和 12 年 4 月 1 日以前生まれの人）、老齢厚生年金の受給権を取得していた人には適用されません。

老齢基礎年金は支給停止されずに、**全額支給**されます。（報酬比例部分のみが対象になります）

月収（総報酬月額相当額）と老齢厚生年金の月額（報酬比例部分）との合計額が 48 万円以下のときは**老齢厚生年の全額**が支給されます。

月収（総報酬月額相当額）との合計額が 48 万円を超えるときは、次の計算式にて減額されます。

$$\text{在職老齢年金} = \text{老齢厚生年金の月額（報酬比例部分）} \left\{ \text{月収（総報酬月額相当額）} + \text{老齢厚生年金の月額（報酬比例部分）} - 48 \text{万円} \right\} \times 1/2$$

（例 1） 月収（総報酬月額相当額）が 20 万円、老齢厚生年金の月額（報酬比例部分）が 12 万円、合計額は 32 万円

在職老齢年金 = 全額支給されます

（例 2） 月収（総報酬月額相当額）が 40 万円、老齢厚生年金の月額（報酬比例部分）が 15 万円、合計額は 55 万円

在職老齢年金 = 15 万円 $(40 \text{万円} + 15 \text{万円} - 48 \text{万円}) \times 1/2 = 11.5 \text{万円}$

お詫び：前号「耳よりな話」の 2 ページ 上から 10 行目を下記に訂正してください。

（誤） 総報酬月額相当額 + 基本年金月額 = 48 万円以上のとき

（正） 総報酬月額相当額が 48 万円超のとき

以上、在職老齢年金について2回にわたって説明してきました。

今回は、在職年金に対する考え方や今までご相談を受けた内容をお知らせします。

【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にて、その骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もあります。

その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

赤穂浪士討ち入りは・・・今月

毎年12月は赤穂浪士討ち入りの話題が定番になっています。

当時は旧暦であったため、12月14日は今の新暦では、1月30日(1703)に当たります。

元禄15年12月14日は雪が積もっていました。新暦の12月では積雪のイメージがわかりませんが、1月30日であれば積雪も納得できます。

また、江戸時代は日の出までは前の日と考えられていたため、討ち入りの寅の刻(午前4時)は実際には12月15日(新暦1月31日)に日付が替わっていたこととなります。

義士際は毎年新暦の12月14日に泉岳寺にて行われます。

従来の「忠臣蔵」とは少し違った説もご紹介します。

事件をご存知のとおり、朝廷からの勅使東下の接待役に任じられた浅野内匠頭が江戸城松の廊下において吉良上野介に刃傷におよんだことです。

- ・浅野内匠頭が刃傷に及んだ理由については、吉良上野介が意地悪をして接待役のしきたりを教えなかったことに対する怨恨説があるが、浅野内匠頭は18年前にも一度、接待役の経験があり、初めてではなかった。しかし、吉良上野介には年寄り独特の凶々しさがあったようです。
- ・5代将軍綱吉は、即日浅野内匠頭に切腹を命じています。**なぜ、事件の審理もしないまま即日切腹させたか。**

将軍綱吉は70歳をすぎた生母・桂昌院(八百屋の娘との説)を従一位に昇叙させるべく目論み、側用人柳澤吉保、高家筆頭吉良上野介らに命じ数年前から朝廷に働きかけていた。このため、朝廷に対し、即座に恭順の態度を示す必要があった。

- ・浅野家の赤穂領民の評判は良くなかった。

当時の赤穂浅野家の領地での評判は極めて悪かった。外様の分家5万石に過ぎない身代にも関わらず、祖父・浅野長直の代に赤穂城を幕府に懇願してまで築城したため(「一国一城令」の後)、赤穂藩の財政は逼迫し、それは内匠頭の代にも持ち越され、年貢の取立ては苛烈を極めていた。また、浅野長矩は政治について無頓着で酒に耽るだらしない性格で、後世に伝えられている彼に対する見方はいささか脚色されている。浅野家断絶を知った領民は餅をついて祝ったという記録があるそうです。

- ・吉良の領地であった愛知県吉良町では上野介の凶々しさは職務上だけのようで、名君と慕われており、事件のあった彼の屋敷周辺では死を悼むものが多かった。地域住民から羽振り良く物を買ったり、また困った者がいたら家来を通じて金品を与えて生活難を助ける人柄だった。その後の屋敷周辺の落書等の被害は『忠臣蔵』を見る等をして、他地域から来た者の仕業であったらしい。

その後の運命は？

その後綱吉の死後、6代将軍家宣の時に浅野家は赦免となる。

- ・内匠頭の弟 浅野大学は500石の旗本に取り上げられ、その子孫は明治まで判明している。
- ・大石内蔵助の3男 大石大三郎は広島 浅野宗家に抱えられ1500石に。
大三郎から11代目浩史氏が健在。浩史氏の妹は 大石 雪絵さんと言うコロンビア演歌歌手だそうです。大石 雪絵のレコード名は「りく」,「阪神タイガース選手別応援歌」だそうです。阪神ファンの方、興味があったらどうぞ。
- ・吉良家当主の吉良義周(よしちかー18歳)は信濃高島の諏訪家にお預けとなり、その後病没。足利時代から続く高家筆頭の吉良家は断絶。



第一生命が毎年「サラリ - マン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

お年玉 親が払って 子が回収

リサイクルパパ

妻よりも やさしくおこす 駅員さん

恐妻亭主

あの出世 調べてくれよ ドーピング

動悸の桜

かげひなた
陰日向 ある奴ばかり 陽があたり

影法師

第八回第一生命サラリマン川柳コンクールより